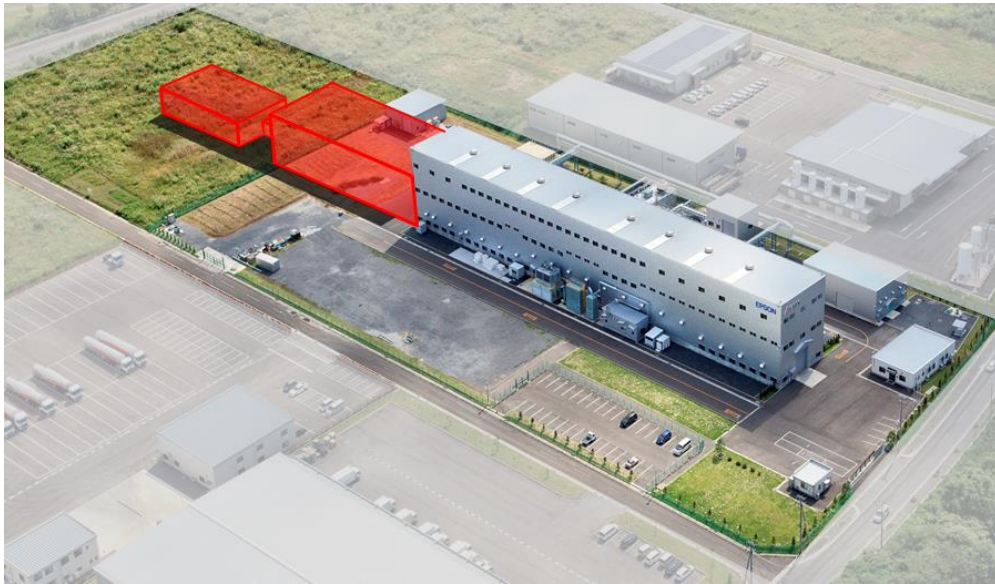


エプソンアトミックス 北インター事業所に新工場を増設

— 微細合金粉末の精整能力を2倍に増強。新ラインは2017年4月から稼働予定 —



エプソンアトミックス 北インター事業所(赤色箇所が新工場の新設イメージ)

セイコーエプソン株式会社(本社:長野県諏訪市 社長:碓井 稔)のグループ会社で、微細合金粉末の製造において世界シェア No.1^{※1}のエプソンアトミックス株式会社(本社:青森県八戸市 社長:赤羽 史明、以下エプソンアトミックス)は、エプソンアトミックス 北インター事業所に隣接した土地 10,000 m²を新たに取得し、総額約12億円を投資することで、新工場を増設します。

新工場は、このたび着工の準備を開始し、2016年3月の着工、2017年4月からの稼働を予定しています。

北インター事業所は、2013年10月から稼働を開始し、自動車、スマートフォン、タブレットPC、ウェアラブル機器、医療機器などにおける、さまざまな高機能部品の原材料となる微細合金粉末を生産しています。市場需要は、年々高まりを見せ、中長期的にもその傾向が続くと予測されています。

このたび増設する新工場には、精整^{※2}、梱包、出荷まで微細合金粉末の後工程となる生産ラインを新設します。既存工場のアトマイズ(粉末化)工程と合わせて、高効率の一貫生産を実現します。これにより、エプソンアトミックスの微細合金粉末の精整能力は、現在の約2倍にあたる1万トン以上に向上し、さらなる安定供給が可能になります。また受注から出荷までのリードタイム短縮にも大きく貢献します。

今後もエプソンアトミックスは、独自の金属粉末製造技術を強みとし、お客様に喜ばれ信頼される製品・サービスをお届けしてまいります。

■エプソンアトミックス 北インター事業所の概要（新工場増設後）

所在地	青森県八戸市北インター工業団地 2 丁目
生産品目	微細合金粉末（磁性粉末、MIM ^{※3} 用粉末）
工場面積	敷地：30,600 m ² 、建物：約 5,300 m ²

■エプソンアトミックス 会社概要

会社名	エプソンアトミックス株式会社
本社所在地	〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字海岸 4-44
代表取締役社長	赤羽 史明
操業開始	1999 年 10 月 1 日
従業員数	約 280 名
資本金	4 億 5 千万円 ※セイコーエプソン株式会社 100%出資
事業内容	金属粉末、金属射出成形部品、人工水晶原石の開発、製造、販売

詳細はエプソンアトミックスのホームページ(<http://www.atmix.co.jp>)をご参照ください。

エプソンアトミックスが生産している微細合金粉末（磁性粉末、MIM 用粉末）について、詳細は別紙をご参照ください。

※1 微細合金粉末の 2014 年金額ベースにおける市場シェア（エプソンアトミックス調べ）

※2 高圧水アトマイズ法により製造された微細合金粉末の粒度を調整し製品化する工程。

※3 MIM (Metal Injection Molding)

射出成形と粉末冶金の特徴を併せ持った最新の金属加工方法。MIM により、微細合金粉末を高精度・高密度・高強度のさまざまな形状をした部品に加工することが可能。

以上

【別紙】

■エプソンアトミックスの微細合金粉末

エプソンアトミックスの微細合金粉末は、その原材料・用途により、主に磁性粉末と MIM (Metal Injection Molding)用粉末の 2 種類に分けられます。エプソンアトミックスは、高周波炉により溶解した金属に高圧水を当てて霧状に飛散させ、それを急速冷却させる高圧水アトマイズ法^(*)に独自の工夫を加え、ミクロン単位という微細サイズであり、かつ成分・特性が均一で安定した微細合金粉末を提供しています。

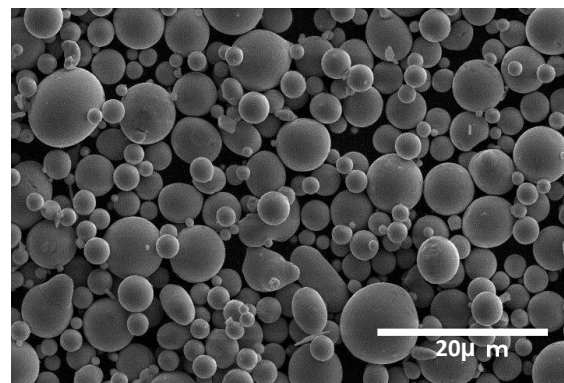
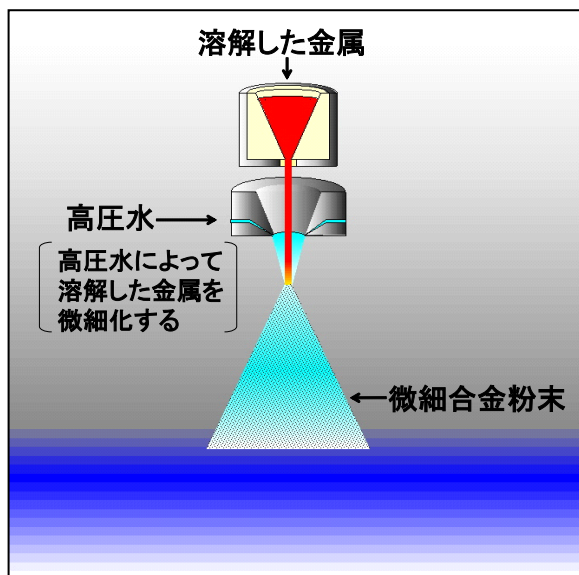
磁気特性を持った磁性粉末は、スマートフォン、ウェアラブル機器など高機能モバイル機器の電圧を制御するために必要なインダクター、チョークコイル、リアクトルなどの電子部品の原材料として使用されています。中でもエプソンアトミックスの磁性粉末は、粒子の微細化技術によってエネルギー損失を抑制し、電圧制御部品の低消費電力・小型化、高周波・大電流対応に大きく貢献しています。世界的に成長を続けているモバイル機器市場だけでなく、自動車産業や省エネ産業などに使用されており、今後さらなる市場拡大が見込まれています。

MIM 用粉末は、複雑な形状でありながら高精度・高強度が求められる、医療用特殊機器や自動車エンジン用などの金属射出成形部品の原材料として使用されています。エプソンアトミックスの MIM 用粉末は、ステンレス鋼や低合金鋼などさまざまなラインアップをそろえ、さらには用途に応じて粉末の粒径を調整できるため、金属射出成形部品の強度向上などに寄与しています。医療、自動車産業などの市場成長に伴い、今後も安定した需要が見込まれています。

【用語説明】

(*1) 高圧水アトマイズ法

微細合金粉末の製造方法の一つ。高周波炉により溶解した金属を高圧水によって微細化し、それを急速冷却させ、微細合金粉末を製造する。



微細合金粉末の拡大写真